



あかね文庫お話しの会 おひさまだより



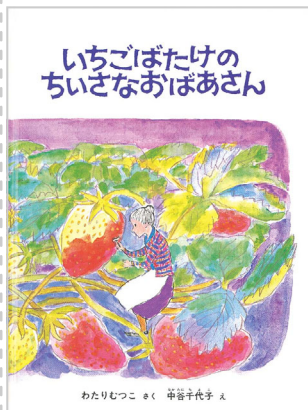
えほんの紹介

『いちごばたけのちいさなおばあさん』

文・わたり むつこ 絵・中谷千代子 福音館書店

いちご畑の土の中にちいさなおばあさんがすんでいました。おばあさんの仕事は、いちごの実に赤い色をつけること。ある年、春はまだ先なのに暖かい日が続く、土の上ではいちごの花が咲き、実がなり始めていました。おばあさんは大急ぎでいちごの赤い色を作り、いちごを赤くそめていきました。ところが、翌朝いちご畑にたくさんの雪が降りました。「あたしが色をつけたいちごがなくなってしまった」と泣き出すおばあさん。通りかかったうさぎがおばあさんの足元の雪をかき分けると…。

おばあさんが赤い色をつけた“とろろとん”の甘～いいちごを食べてみたいですね。

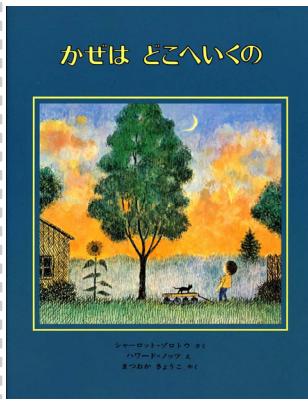


『かぜは どこへいくの』

シャーロット=ゴロウ さく ハワード=ノッツ え まつおか きょうこ やく 偕成社
“どうして ひるは おしまいになってしまうの？”

“かぜは やんだら どこへ いくの？”
小さな男の子にはふしぎなことがいっぱいあって、おかあさんにたずねます。おかあさんは小さい男の子にもわかるようにやさしく答えます。「よるがはじめられるようによ」「かぜはとおくへとんでいって どこかで また木をゆらすのよ」「おしまいになってしまうものは なんにもないの。べつのはしよで べつのかたちではじまるだけのことなの」

母と子の対話は詩のように心地よく、細やかな線画があたたかくつつみます。



小さなおともだち “えほん だいすき”

〇ちゃんは絵本が大好き。おくすりの影響で気分がすぐれず「いやいや」「ないしょ」の連発になっている時でも、おはなしの会では、いつのまにかママのお膝におすわりして、じっとお話を聞いています。

今日は『ねえ、どれがいい？』の絵本でした。内容は、大水にひたっている家と、大雪にうまっている家と、ジャングルに囲まれている家、どれがいい？と、次々に難問がでてきます。

今回もママのお膝にすわり、自分のいい方を教えてくれました。でも、ママの意見をきくと変わります。やっぱりママと一緒にの方がいいですね。

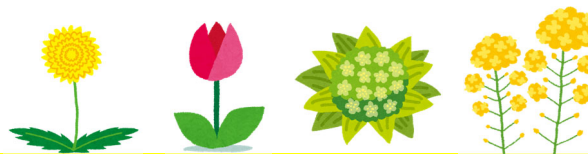


『ねえ、どれがいい？』
ジョン・バーニンガム作/まつかわまゆみ訳/評論社

絵本クイズ

1から5の絵本の中に描かれている春の花はどれでしょう？
a～eの中から選んでください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 しらいうさぎとくろいうさぎ | a かたくり |
| 2 そらいろのたね | b たんぽぽ |
| 3 とん ことり | c チューリップ |
| 4 ふきまんぷく | d すみれ・たんぽぽ・なのかな |
| 5 ぽとんぽとんはなんのおと | e ふきのとう |



季節のわらべうた

かわのきしの みずぐるま
ぐるると まわって
いそいで ふたりづれ
のこりは おによ
(いち、に、さん)

明るい春野の風景が目につくかびます。だれかさんと手をつないでお散歩しながら歌うのもいいですね。大勢で遊ぶ時は、手をつないで輪になって左右に歌いながら歩き、いち、に、さんで手をうち、急いで2人組になります。残ったのはだれ？

